

(1) 本年度のNIE活動の概要

本校において、これまで新聞を活用した授業は「総合的な探究の時間」における「課題研究」のみであり、ほとんどの教科で新聞を活用していないのが現状である。本年度は研究指定校2年目ということで、昨年度の取り組みや課題を引き継ぐかたちで、教科学習での新聞の活用と、生徒たちが日頃から新聞に親しむということを目的にNIE活動を実践した。

(2) 本年度のNIE活動の取り組み状況（4月時点）

本校は全校生徒672名、2・3学年普通科5クラス、国際教養科1クラス、1学年普通科4クラス、国際教養科1クラスという規模の学校である。生徒の卒業後の進路は進学者が多く、9割以上の生徒が進学する。また、その中でも4年生大学を希望する生徒が多い。

本年度も昨年度と同様に(1)の目的に基づき、2学年理系講座を対象に『SCRAP BOOK』の活用と研究授業の実施、全校生徒と教員に向けた新聞閲覧コーナーの設置をした。また、それらに加えて2学年全体への新聞に関する「出前授業」を実施したり、「信濃毎日新聞データベース」が活用できることを教員間に周知した。

(3) NIE活動の狙い（育てたい力）

国際化・情報化が急速に進む現代社会において、学校教育も従来の知識中心主義ではなく、生徒の主体性や探究的に学ぶ姿勢を育む教育にシフトしている。そこで本年度も引き続きNIE活動を通して次のような力を育てていく。

- ・現代の社会における課題を発見する力
- ・課題に関する正確な知識を身につけ、それをもとに思考・判断し、課題解決に向けた考察ができる力

(4) 全校での取り組み

〈新聞閲覧コーナーの設置〉

朝日新聞・産経新聞・信濃毎日新聞・中日新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞といった中央・地方紙計7紙を9月から届けていただき、進路室前の学習スペースに閲覧・活用コーナーを設置した。このコーナーでは、過去の新聞の持ち出しや切り抜きを可としたため、自宅で新聞をとっていない生徒が記事をスクラップしたり、新聞をとっている生徒も、他紙との記事の取り扱いを比較したり、3年生が受験対策で利用したりと幅広く活用している様子が見られた。



(5) 公開授業などの活動内容

- ① 日時：令和3年12月6日(月)第6限(55分)
- ② 学年・クラス：第2学年 理系1講座 計41名
- ③ 場所：27番教室(普通教室)
- ④ 単元名：地理B特別編「これまでの新聞スクラップを振り返る」

⑤ 単元の目標

これまで集めてきた新聞記事スクラップから自分の興味・関心がどこに向いているのかを知り、社会の一員として、これから自分がどのように社会と関わっていくかをSDGsの観点から考え、実践しようとする事ができる。

- (1) 自分の興味・関心をひく新聞記事の選択ができる。〔関心・意欲・態度〕
- (2) 新聞記事の内容を通じて社会情勢を理解することができる。〔知識・理解〕
- (3) 記事の要約力や自己の意見をまとめて発表する力の育成。〔思考・判断・表現〕
- (4) グループワークを通じて他者と協働して理解を深めることができる。〔意欲・態度・理解〕

⑥ 単元の構想

(1) 教材観

本授業は地理Bの授業内の特別編という扱いであり、通常授業とは異なった位置付けである。現在、新型コロナ関係を筆頭に様々な社会情勢が渦巻いている。また、国連が持続可能な開発目標「SDGs」を掲げ、世界の一致団結が求められている。生徒がそのような社会を学び、理解し、どう生きていくかを主体的に考えていくことができるように本授業を設定した。

(2) 生徒観

男子19名、女子22、計41名。落ち着いた雰囲気講座である。授業中は教師からの発問に対しては消極的であるが、2学期より授業の冒頭で新聞記事のスクラップをグループで発表し合う活動を定期的に行ってきたため、一人ひとりが記事を選択し、事象を分析・考察し発表する習慣がついてきた。

(3) 指導観

現代は情報が溢れており、自分の知りたい情報がインターネットを通じて安易に検索、入手できる。生徒も普段から情報源として多く活用しているが、便利な反面、偏った情報や間違った情報入手することも考えられる。新聞記事をもとに情報を正しく理解し、客観的な意見に触れることで、物事を冷静に分析・考察・判断できるように指導していく必要がある。

⑦ 指導計画

(1) 2学期(夏季休業明け)8月より週1回のペースで新聞記事のスクラップをグループ(4~5名)内で発表し合い、交流するという時間を地理の授業の冒頭(15~20分)に設定した。

※スクラップ記事は一週間で一記事、一週間以内の記事に限る。

(2) 本時まで約10回ほど実施し、生徒は約10回分の新聞記事スクラップを収集してきた。

⑧ 準備物

生徒：『SCRAP BOOK』・新聞記事(今週分)

教員：プロジェクター・スクリーン・書画カメラ・パソコン・ワークシート・付箋

⑨ 本時の計画

(1) 本時の題目……「これまでの新聞記事スクラップを振り返る」

(2) 本時の展開

段階 (時間)	学習内容	学習活動	指導上の留意点・支援・評価	準備物・資料等
導入 (20)	<p>1. スクラップの記事グループ交流</p> <p>2. グループ代表者の全体発表(約3グループ)</p> <p>3. 本時学習課題の提示 「これまでの新聞スクラップの振り返り」(自己分析)</p>	<p>・3～5名グループで1週間以内で自分が興味を持った記事を順に発表。</p> <p>・他の生徒の発表をメモしたり質問したりして、交流する。</p> <p>・各グループの代表者による全体への記事紹介及び、感想発表、質疑応答。</p>	<p>・持ち時間を示し計画的に進める。</p> <p>・全体発表することを想定してグループ内で発表するように促す。</p> <p>・グループ交流中に全体発表の準備</p> <p>・代表者の記事を書画カメラで電子黒板に写し、全体で共有できるようにする。</p> <p>・発表内容に対して感想やコメント、アドバイスをする。</p> <p>・学習課題用ワークシート配布</p>	<p>・ワークシート (記事交流用)配布</p> <p>・電子黒板</p> <p>・書画カメラ</p> <p>ワークシート</p>
展開 ① (10)	<p>1. 今までの新聞スクラップを振り返り、自分がどんな新聞、記事、分野に興味・関心があるのか自己分析をする。</p> <p>2. グラフなどを参考に自己分析をし、趣向・傾向を把握する。</p>	<p>・ワークシートの分野別リーダーチャートなどを用いてこれまでの記事をグラフ化する。</p> <p>・自分がこれまで集めた記事の関連性や傾向を見つける。</p> <p>・分析結果についての感想も記入する。</p>	<p>・どういった記事がどの分野に入るかの基準を示す。</p> <p>・グループ内で協力する(教え合う)ように促す。</p> <p>・わからない生徒へは個別に対応する。</p> <p>・関連性が見つけられない生徒のアドバイスや手助けをする。</p>	<p>・分野分け資料の提示</p>

<p>展開 ② (20)</p>	<p>1. これまでの記事の中からSDGsに関連するものを見つける。 2. グループ内で意見交流する。</p>	<p>・SDGsに関連する記事(部分)に付箋を貼り、どの目標と関連するかも書き込む。 ・スクラップブックをグループ内で交換して他の生徒の視点も加える。</p>	<p>・SDGsの概要を例をしめしながら説明する。 ・付箋の貼り方などを説明する。 ・手順を提示してスムーズに意見交流できるようにする。</p>	<p>・付箋配布(4色) ・SDGs資料の提示</p>
<p>まとめ (5)</p>	<p>本時の授業及び、これまでのスクラップ記事収集やグループ交流の振り返り。</p>	<p>本時の授業及び、これまでのスクラップ記事収集やグループ交流を通しての感想や考えをワークシートにまとめる。</p>	<p>・SDGsの目標に対して社会がどのように関わっているかを知り、今後社会の一員としてそれにどう関わっていくかという視点を持ってもらう。</p>	

生徒配布ワークシート

NIE ワークシート「これまでの新聞記事スクラップを振り返る」

1. NIEとは
 NIE (Newspaper in Education=「エヌ・アイ・イー」と読みます) は、「教育に新聞を」をスローガンに、学校などで新聞を教材として活用する活動です。社会性豊かな青少年の育成や活字文化と民主主義社会の発展などを目的に、全国で展開しています。 (NIE 推進協議会HP より抜粋)

2. 新聞記事の分野分け
 (1) これまでの記事を振り返って、記事を分野別にグラフ化しよう。
 (2) 分野分けと同時にどんな規模(範囲)の記事かも分類してみよう。

(1)	政治	経済	社会	文化	スポーツ	生活	化学	事件・事故
回数								
(2)	国際	全国	県内					
回数								

分野別レーダーチャート

記事内容の規模

3. 自己分析してみよう。
 (1) 自分の興味・関心とその傾向をグラフから読み取ってみよう。
 []

(2) 読み取って感じた感想や新しい発見など。
 []

4. これまでの記事の中から【 】に関連するものを見つけよう。 ※裏面参照
 (1) まずは自分でみつけよう。(記事の関連する箇所に付箋を貼って目標の番号を振る)
 (2) グループ内でスクラップブックを交換して、他の生徒の記事の中でも見つけてあげよう。
 (3) 自分がそれらに今後どう関わっていくか考えてみよう。 ↓ ↓
 []

(6) 生徒の反応

NIE 活動を講座で始めるのに先立って2学年全体に対して、総合的な探究の時間を利用して出前授業「新聞を読もう」を実施した。新聞を自宅ですべて読んでいなかったり、読んでいなかったりする生徒が多かったため、出前授業を通して新聞紙面の構成や読み方、新聞の「伝える工夫」などを学習でき、多くの生徒が新聞を情報源として認識することができた。

授業内で新聞スクラップを用いたグループワークを定期的に行ってきたことで、多くの生徒が新聞を読み情報を得ることや、他の生徒と意見を交わすことの意義や楽しさを見出すことができた。

以下生徒感想より

- ・ 普段あまり新聞を読まないから新聞を読む良い機会になったと思う。
- ・ 他の人が選ぶ記事は色々なものがあって楽しかった。
- ・ 自分の家は新聞をとっていないけれど、これを機に新聞をとってみたいと思いました。
- ・ グループの人の発表を聞くと、自分だと見逃しそうな記事や、興味をもたないニュースについても知れて面白かった。
- ・ 初めて知るような情報が得られたり、友達の記事に対する意見が聞けて共感したりできた。
- ・ 発表するために記事をしっかり読んで選んでいたのも、それが習慣となって、新聞を読むことに対する抵抗がこの活動をする前よりもなくなったので良かったと思います。

研究授業では、これまで集めてきた生徒自身のスクラップ記事を分野別に分類したり、SDGsとの関連を調べることで、生徒は自身の趣向や傾向を自己分析し、そこから新たな発見ができた、今後の課題を見出すことができた。

以下生徒感想より

- ・ 自分の興味ある記事の内容がわかっておもしろかった。
- ・ ざっくりばらんに記事を集めていたつもりだったが、結構ジャンルが偏っていて、無意識に同じような記事を選んでいて驚いた。
- ・ グラフにすることでどの分野に興味があるのかが知れておもしろかった。
- ・ 集めた記事を分類してみたら、自分は思ったより様々な面から記事を選んでいて分かった。
- ・ SDGsにどう関連するかを調べたことで、今後の課題や自分にできることを改めて考えることができた。
- ・ 自分が今まで何気なく選んできた記事もSDGsに自然と関わっているということに驚いた。
- ・ SDGsと照らし合わせて、どの記事も何らかの目標に当てはまっていたことに感動した。

(7) 成果と課題

NIE 活動の目的の一つとしていた、「生徒たちが日頃から新聞に親しむということ」に関して、『SCRAP BOOK』の作成を通じて新聞を読む習慣ができ、記事を考察し自分の考えを深めていく生徒が多くみられた。また、グループワークを通じて、自分だけでなく他の生徒の選ぶ記事や意見にも触れることで、視野が広がったと実感する生徒もみられた。さらに、これまでの記事を振り返って自己分析をすることで、課題を発見できたり、中には今後の進路に役立てようとする生徒も見られた。このことから目的は当初以上に達成できたと考えられる。

教科学習としての目的については、今年度は記事をスクラップするにあたり教科・科目に関連させるなどの制限は行わなかったため、課題が残る形となってしまった。生徒の選んだ記事と教科との関連性を考察する時間を設けるなど、工夫の余地があったと考える。